

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390800262
事業所名	グループホームさんさらな

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	日頃の散歩など外出時に近隣の方への挨拶や会話をするように心がけている。町内会に加入して回覧板届けや地域の情報を得ている。地域の夏祭りに参加している。スタッフと一緒に近くのコンビニでの買い物や家族と一緒に喫茶店に行っている。大正琴、フラダンス、ヨーヨー実演など、地域ボランティアの受け入れも再開され利用者に喜ばれている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議はコロナが終息に向かったので書面から対面で年6回開催された。出席者は、いきいき支援センター（地域包括）職員、町内会長、民生委員、管理者などで議題は主にホームの取り組みや質疑応答である。特に町内会長からは防災訓練や秋祭りなど参加型のイベントの参加依頼があった。会議で出された意見や情報は、職員会議等で検討しサービス向上に生かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区役所とは介護保険や生活保護などで出向き、連携を深めたり情報を得よう努めている。いきいき支援センターとは運営推進会議に毎回職員が出席し、助言をもらう等連携を深めている。いきいき支援センター主催の講習会で管理者が講師を務めて協力体制を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族等には毎年定期的に家族アンケートを実施し、要望等を聞く仕組みがある。毎月家族等に活動内容、利用者の様子、往診状況を写真入りで詳しく報告し意見をもらっている。管理者、職員は家族等の訪問時には苦情、要望を聞き、会議で検討し反映するように努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄

コロナが終息に向かっているので外出、運営推進会議、イベント、ボランティアの受入など平常に戻りつつある。
---

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価											×
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	○	○	○							